

報 告 書

令和元年11月21日

座間市議会議長

上 沢 本 尚 殿

公明党 団長 安 田 早 苗

次のとおり報告します。

- 1 視察日時 令和元年11月5日（火）午前9時30分～午前11時00分
- 2 視 察 先 大和市
- 3 視察項目 障がい者福祉施策について
- 4 概 要 別紙のとおり

令和元年11月21日

座間市議会議長

上 沢 本 尚 殿

公明党

安田 早苗

視察所感

あいサポート運動とは、誰もが、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を皆でつくっていく運動のことで、鳥取県が始めた運動で、今は全国に広がりつつあります。

大和市は神奈川県で初めてあいサポート運動を取り入れ、本年2月に鳥取県と調印式を締結しました。また、大和市は、ヘルプマークに加え、ヘルプカードを導入しており、あいサポート運動とヘルプカードを併用することで、障がい者に理解を示し、手を差し伸べる上でも効果的であるとの判断の上で、導入に至っています。

本市を始め、どの自治体もさまざまな障がい理解の取り組みがなされてはいますが、まだ十分とは言えず、手助けをしたくても手を差し伸べる方法がわからないため、躊躇するといった状況でもあります。

そのような状況の中、このあいサポート運動は地域の誰もが気軽に取り組み、目に見える形で、日常的に市民に対し共生社会の大切さを広めることができるもので、本市はじめ、多くの自治体に広まってほしい運動だと感じました。

本市においても導入ができるよう議会において働きかけていきたいと思っています。